



最先端を、人間らしく。

スターティア株式会社

2017年3月期 第3四半期決算説明資料

(東証一部 3393)

本資料に掲載されている業績見通し等に関する情報は、資料作成時点において合理的に入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は様々な要素によってこれらの業績見通しと大きく異なる可能性があることをご了承ください。

- ① 第3四半期の業績について
- ② 2017年3月期の計画と進捗
- ③ 2017年3月期の取り組み
- ④ 会社概要と事業内容

1. 第3四半期の業績について

第3四半期決算(サマリ)

連 結

組織体制の変更(24ページ参照)

売 上 高: 73.6億円

営 業 利 益: ▲0.5億円

デジタルマーケティング 関連事業

パッケージ販売が低迷 WEB制作は計画を達成

売 上 高: 12.8億円

セグメント利益: ▲0.7 億円

ITインフラ関連事業

カスタマー1st 専任担当制により顧客基盤を構築

売 上 高: 60.8億円

セグメント利益: 0.5億円

その他事業 (コーポレートベンチャーキャピタル 事業)

セグメント利益: ▲0.3億円

第3四半期損益計算書 前期比較

(単位:百万円)

区分	2016年3月期 3Q実績	2017年3月期 3Q実績	前期増減 (前期比)
売上高	7,274 	7,355	81
営業利益	194 	△51	△245
経常利益	236 	△17	△253
当期純利益	51 	106	55

販売体制の変更を行っており、売上高-経常利益において増収減益である。

売上高は81百万円増加、営業利益は245百万円減少した。(説明は5ページ)

当期純利益は、55百万円増加した。

ホスティング事業の譲渡、子会社クロスチェックの増資、同社株式売却による利益である。

第3四半期損益計算書 推移

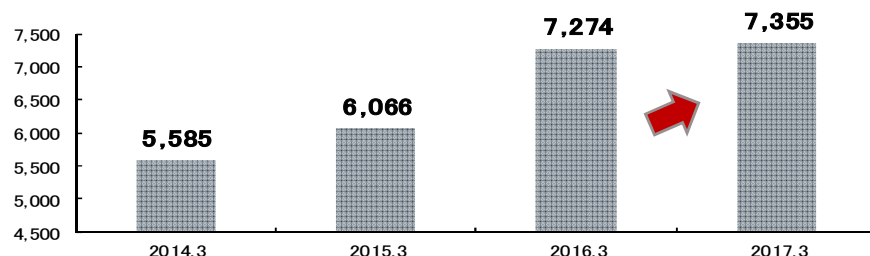
売上高は増加したが、収益性は低下している。ストック売上の向上に取り組んでいるため、フロー売上が減少した。ストックの生産性の向上、フローの回復に努める。

	2014年3月期 第3四半期	2015年3月期 第3四半期	2016年3月期 第3四半期	2017年3月期 第3四半期
売上高	5,585	6,066	7,274	7,355(計画:7,853)
営業利益	364	295	194	▲51(計画:▲28)
経常利益	388	407	236	▲17
当期純利益	231	284	51	106

(単位:百万円)

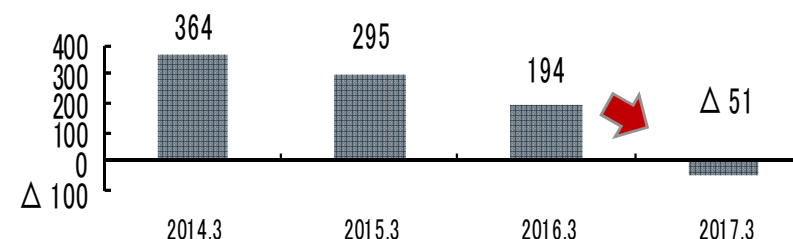
売上高推移

(単位:百万円)



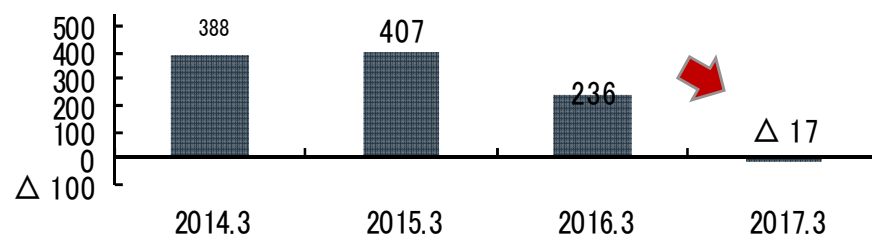
営業利益推移

(単位:百万円)



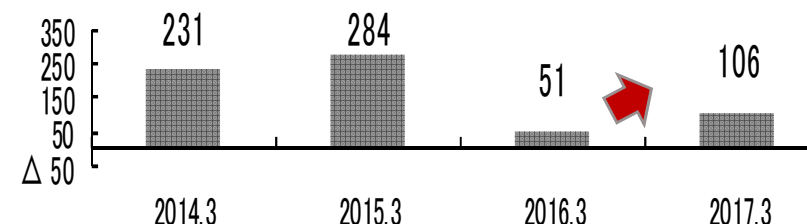
経常利益推移

(単位:百万円)



純利益推移

(単位:百万円)



連結貸借対照表 前期末比較

第3四半期において、CVC事業によるベンチャー投資を実施した。

(単位:千円)

資産の部	2016.3	2016.12
科目		
流動資産	4,700,136	4,061,158
現金及び預金	2,638,388	2,140,226
受取手形及び売掛金	1,597,094	1,414,894
原材料	66,252	90,313
営業投資有価証券	34,058	193,320
繰延税金資産	102,645	94,970
その他	332,048	141,745
貸倒引当金	△70,351	△88,468
固定資産	1,828,980	1,838,527
有形固定資産	172,500	115,138
無形固定資産	927,655	848,254
のれん	160,272	178,206
ソフトウェア	766,843	668,938
その他	539	1,113
投資その他の資産	728,824	875,135
資産合計	6,529,117	5,899,685

負債の部	2016.3	2016.12
科目		
流動負債	1,878,806	1,469,010
買掛金	640,673	595,798
賞与引当金	170,801	93,856
未払法人税等	132,121	0
1年以内返済予定長期借入金	333,320	346,413
その他	601,888	432,941
固定負債	561,630	287,765
長期借入金	559,702	286,799
その他	1,927	965
負債合計	2,440,436	1,756,755
純資産の部		
株主資本	4,095,773	4,072,643
資本金	824,315	824,315
資本剰余金	965,478	965,478
利益剰余金	2,344,460	2,369,415
自己株式	△38,480	△86,566
その他の包括利益累計額	▲11,566	62,602
新株予約権	2,084	720
非支配株主持分	2,389	6,944
純資産合計	4,088,681	4,142,910
負債純資産合計	6,529,117	5,899,685

第3四半期キャッシュフロー計算書 推移

(単位:百万円)

	2014年3月期3Q	2015年3月期3Q	2016年3月期3Q	2017年3月期3Q	要因
営業CF	243	370	164	▲16	営業損益のマイナス
投資CF	▲64	▲449	▲649	▲204	システム投資が一巡
財務CF	▲29	▲82	798	▲272	中間配当、借入返済
現預金残高	2,018	2,082	2,644	2,118	—

①営業キャッシュフロー: 営業損失が発生したため収入が減少した。

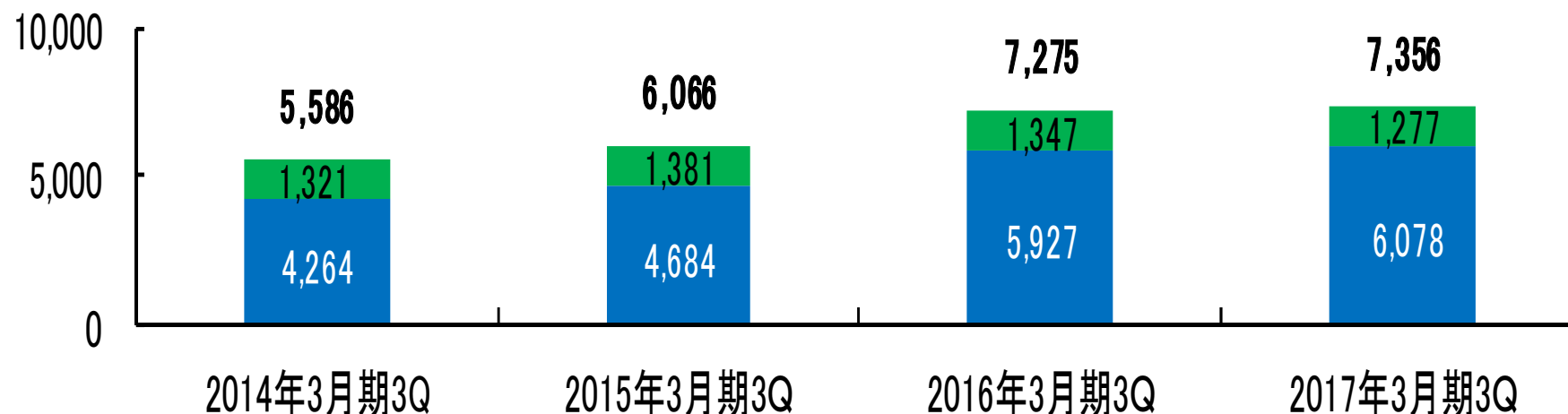
②投資キャッシュフロー: 基幹システム投資が一巡し、前期より支出が減少した。

③財務キャッシュフロー: 配当金及び自己株式の購入により、株主還元を強化している。
また、借入金の返済があるため、支出が増加した。

セグメント別 売上高(累計)

(単位:百万円)

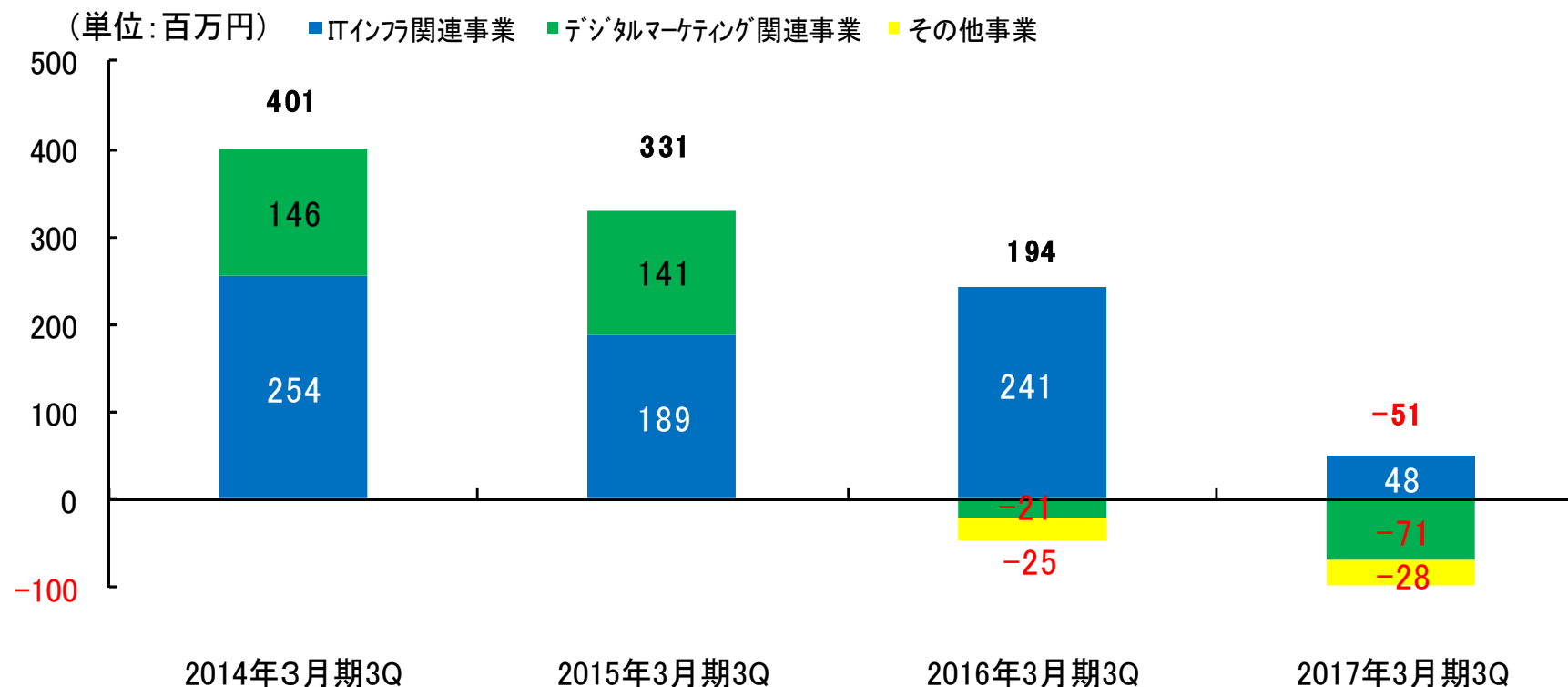
■ITインフラ関連事業 ■デジタルマーケティング関連事業 ■その他事業



◆デジタルマーケティング関連事業は、売上高1,277百万円である。前年同期比70百万円の減収となった。3Qは前年を上回る売上高となったが、1Qに生じたパッケージ販売の遅れを取り戻せなかったことが原因である。その中で、Web制作の売上高は増加している。

◆ITインフラ関連事業は、売上高6,078百万円である。前年同期比151百万円の増収となった。スターティア光、カウンター、グローバルゲート等のストック収入が増加していることが原因である。

セグメント別 セグメント利益(累計)



◆デジタルマーケティング関連事業は、セグメント利益は△71百万円であった。前期と比較して減益である。3Qにおいてセグメント利益が28百万円生じたが、1Qが低迷したことにより、遅れを取り戻せていない状況である。パッケージ販売が低迷し、WEB制作は順調に進捗している。

◆ITインフラ関連事業は、セグメント利益は48百万円となった。前期と比較して減益である。「カスタマー1st」を構築しており、一時的にフロー売上高が減収となっているため、収益額が減少した。

◆その他事業は、コーポレートベンチャーキャピタル事業におけるコストである。

2. 2017年3月期の計画と進捗

当期計画の進捗(累計期間)売上高、営業利益ともに未達である。

(単位:百万円)

区分	2016年3月期 通期実績	2017年3月期				達成可否
		通期計画	3Q計画	3Q実績	3Q計画比	
売上高	10,171	10,639	7,835	7,355	▲480	×
営業利益	503	418	▲28	▲51	▲23	×
経常利益	544	418	—	▲17	—	***
当期純利益	253	338	—	106	—	***

①売上高は、計画比93.9%の達成率となった。
カスタマー1stにより、フロー売上が減少している影響で売上高が減少した。

②営業利益は、予算に対してマイナス23百万円となった。
売上高が減少した一方で原価の削減を行い、計画に対して若干の遅れとなった。

当期計画の進捗(四半期会計期間毎)

【計画】

(単位:百万円)

区分	1Q	2Q	3Q	4Q	2017年3月期 年度計画
売上高	2,291	2,573	2,761	3,103	10,639
営業利益	△201	71	89	446	418

【実績】

区分	1Q	2Q	3Q	4Q	2017年3月期 実績
売上高	2,315	2,459	2,581	—	—
営業利益	△177	58	68	—	—

3Qにおいては、売上高及び営業利益ともに、計画を下回った。

主力ストック型サービス商材の内訳(四半期推移)

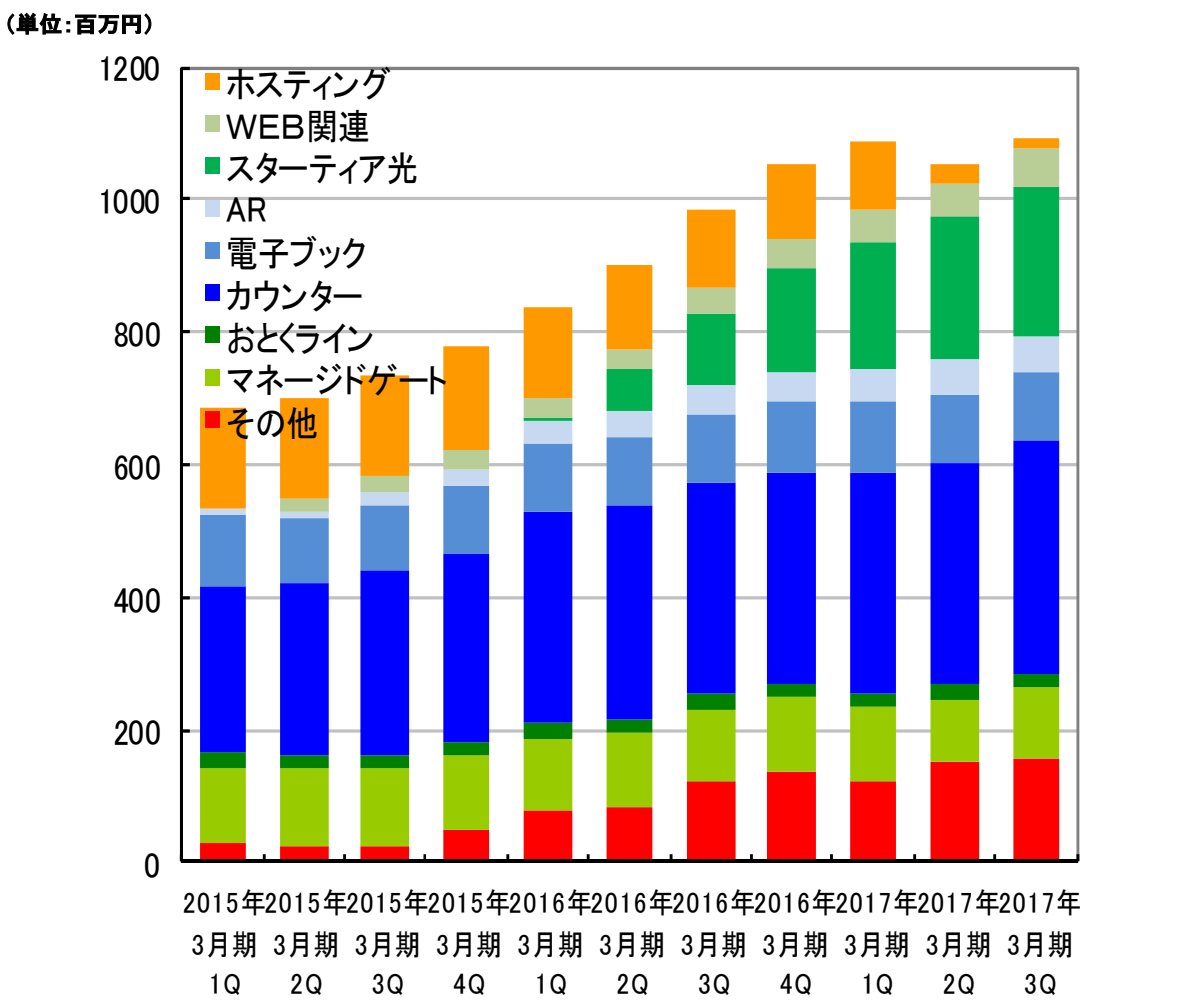


・カウンターサービス、上海のグローバルゲートウェイ、スターティア光のストックが増進中。
・ホスティング事業を売却したことにより、2Qは一時的に減少したが、3Qは増加した。

事業別のストック型サービス

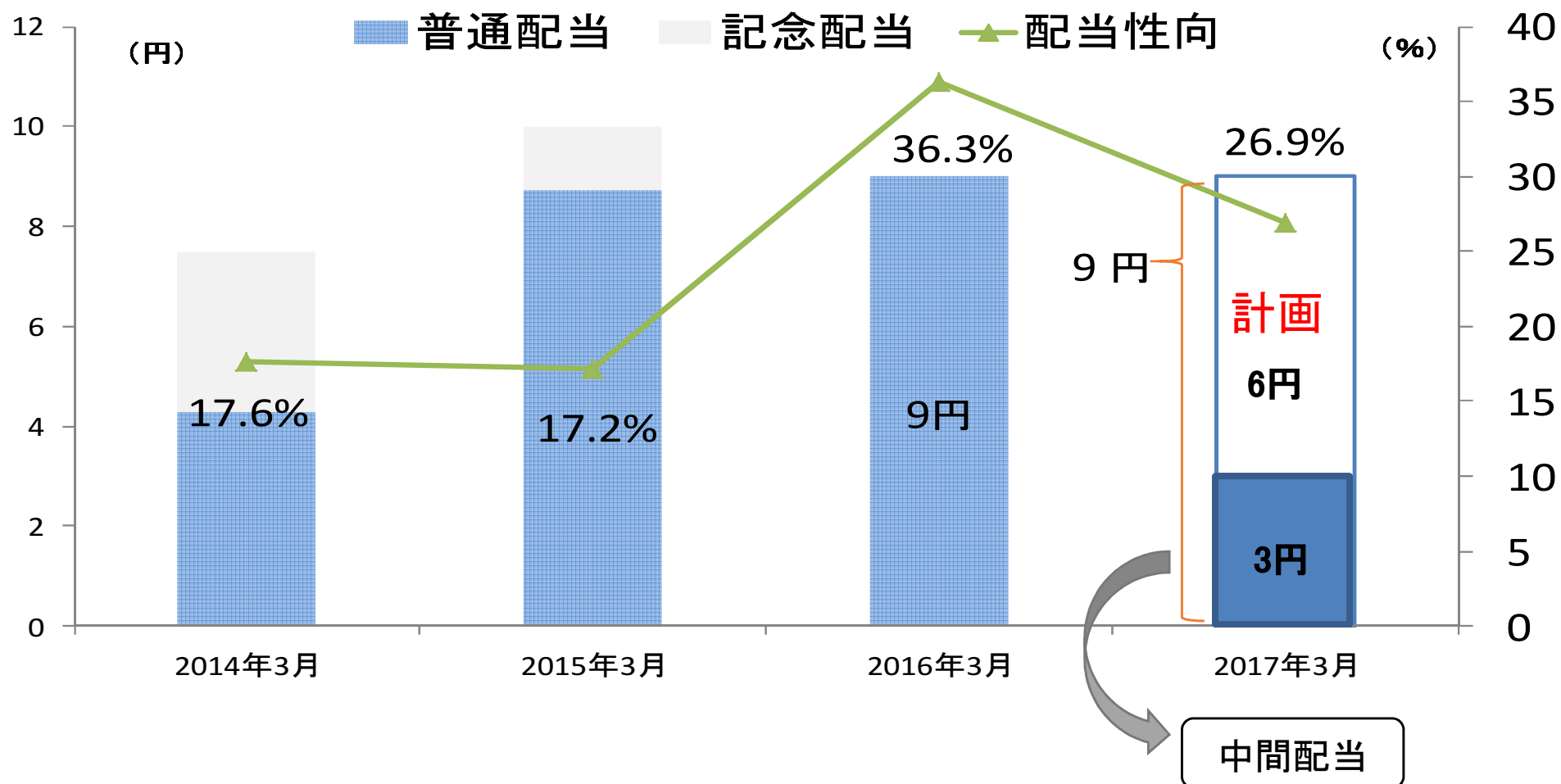
事業別売上高の推移(会計期間)

デジタル マーケティング 関連事業	・電子ブック作成ソフトの保守サービス「ActiBookバージョンアップサポートプラン」 ・ARコンテンツ作成保守サービス「ActiBook AR COCOAR」 ・WEB 関連サービス
ITインフラ 関連事業	・ホスティングサービス SaaS型オンラインストレージの「セキュアSAMBA」など ・ネットワーク機器のマネージドレンタル「マネージドゲート」 ・カウンターサービス ・おとくラインの継続インセンティブ「Digit@Link ネットレスQ」 ・スターティア光 ・Tialink(ティアリンク) ・その他レンタル商品 ・スリムビリング



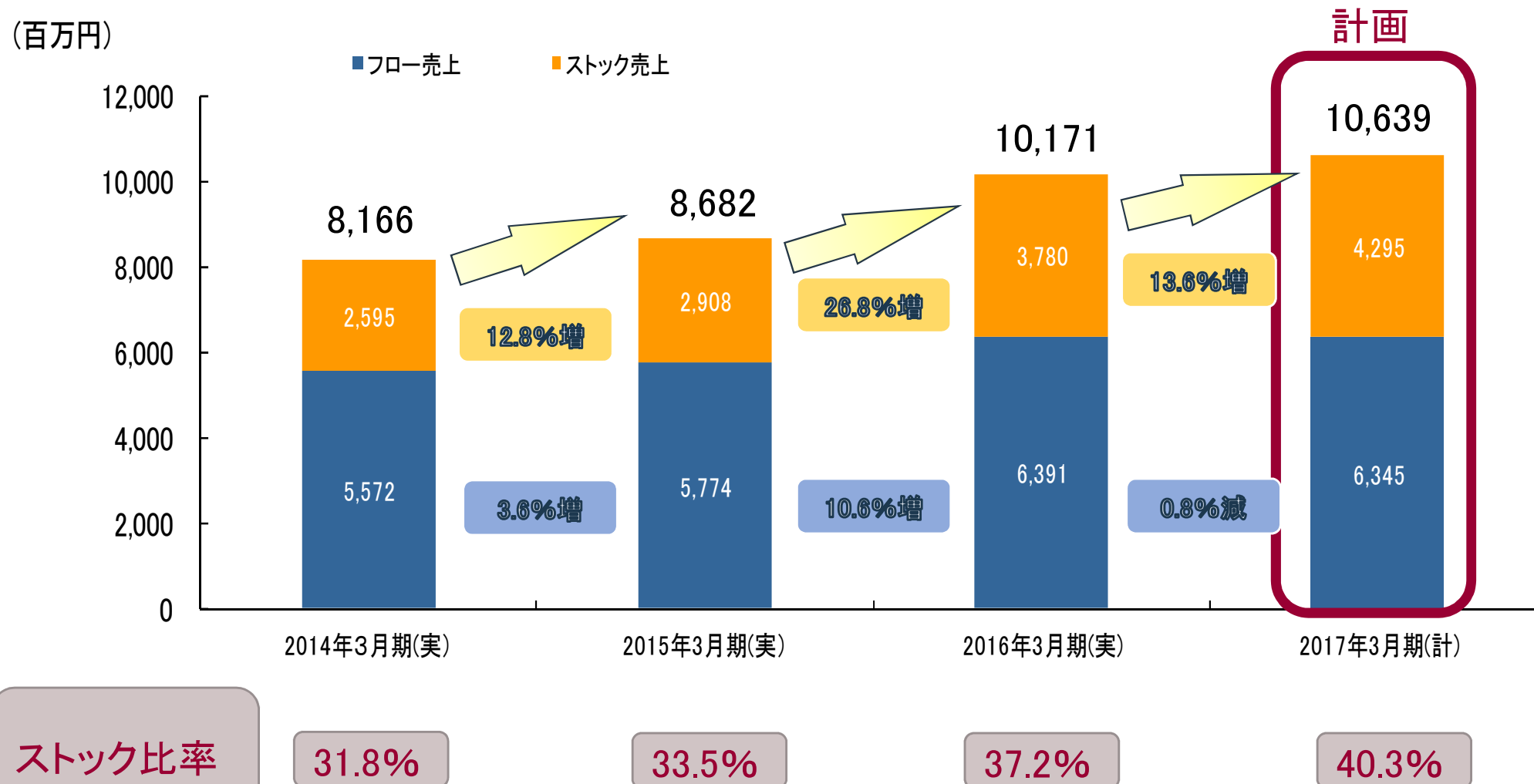
配当計画について

12月に中間配当@3円を予定通り実施した。



ストック&フロー売上(年度別売上高実績)

- ◆フローは前期を維持し、ストックが増加する。
- ◆着地予測では、ストック売上が42.9億円となる見込みである。



継続的な利益基盤構築

今期はストック売上高 **42.9億円**を計画（ストック比率40.3%）

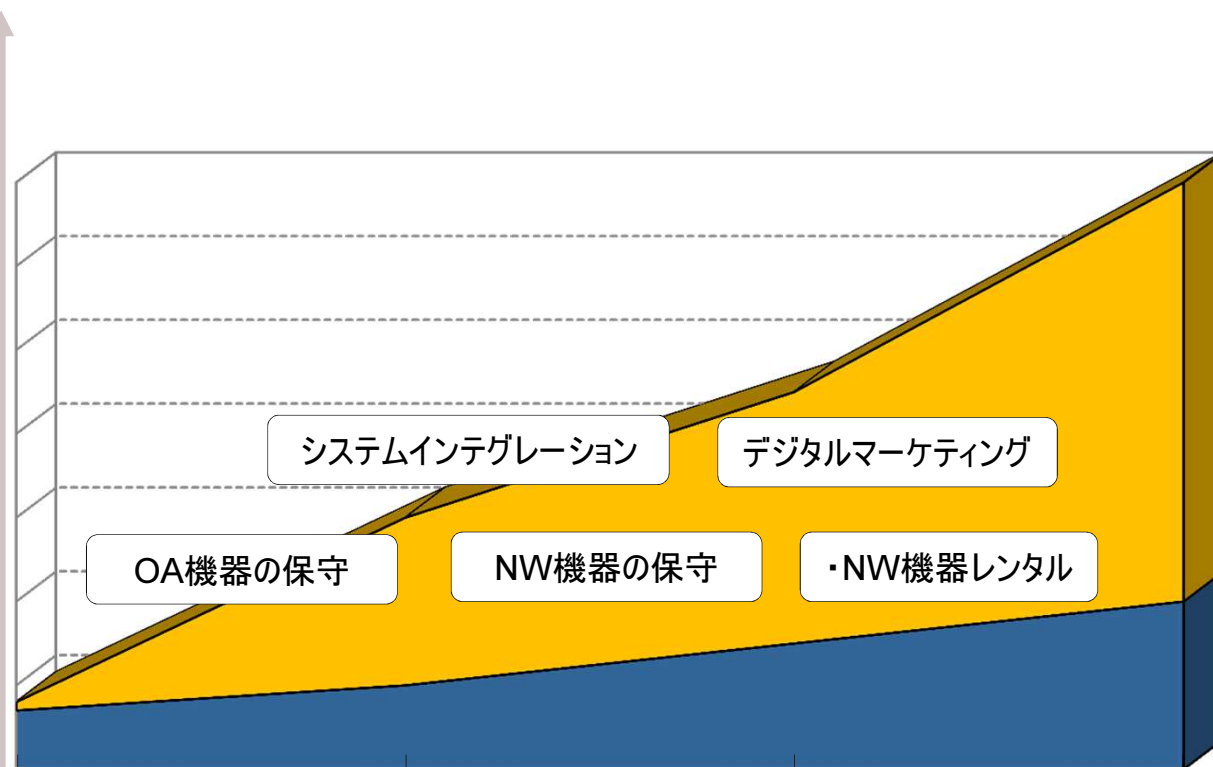
ストック型商材の投入

移行期の売上・利益の先送り

ストック型収入の増大

筋肉質の収益構造へ

■フロー型 ■ストック型



ストック型の売上比率の拡大

2008.3月期 **9.5%** 2009.3月期 **13.8%** 2010.3月期 **25.8%** 2011.3月期 **28.7%** 2012.3月期 **32.7%**
2013.3月期 **33.7%** 2014.3月期 **31.8%** 2015.3月期 **33.5%** 2016.3月期 **37.2%**

①会社名

Crosscheck

株式会社クロスチェック

②内容

事業拡大によって、一括請求サービスが当社グループの事業領域を超えて広がり、更なる事業領域の拡大のため、当社以外からの資本を入れ、財務基盤の安定を図るため、子会社から持分法適用関連会社とした。

③結果

当社保有株式の売却及び第三者割当増資の結果、特別利益が発生した。

①会社概要

株式会社エーティーワークス



所在地: (東京) 東京都港区 (富山) 富山県富山市

事業内容: WEBサービス、サーバサービス、クラウドサービス等

②目的

ホスティングサービスの開発及び運用の役割を同社へ移管し、当社の強みである販売の役割を明確に分離することでお互いの強みを生かす。

③時期

平成28年7月1日

①会社概要



ビーシーメディア株式会社



1979年設立の大阪府堺市にてOA機器の販売・サポートメンテナンス事業を営んでいる。

②目的

同地域は当社大阪支店の強化エリアに隣接しており、新規顧客との取引拡大、大阪支店との協業体制構築によって、既存ビジネスのスケールメリットの享受を期待できるため。

③時期

平成28年7月29日

①概要

市場より当社の普通株式を
20万株(1.96%相当)または1億円を
上限として自己株式取得を実施する。

②目的

経営環境の変化に対応した機動的な資本
政策を遂行するため。

③時期

平成28年11月14日から
平成29年 2月28日まで

④結果

94,500株取得(発行済株式総数の0.9%)

※平成29年1月31日時点

①会社概要



株式会社エヌオーエス



持分比率49%から100%へ変更(51%追加株式取得)

②目的

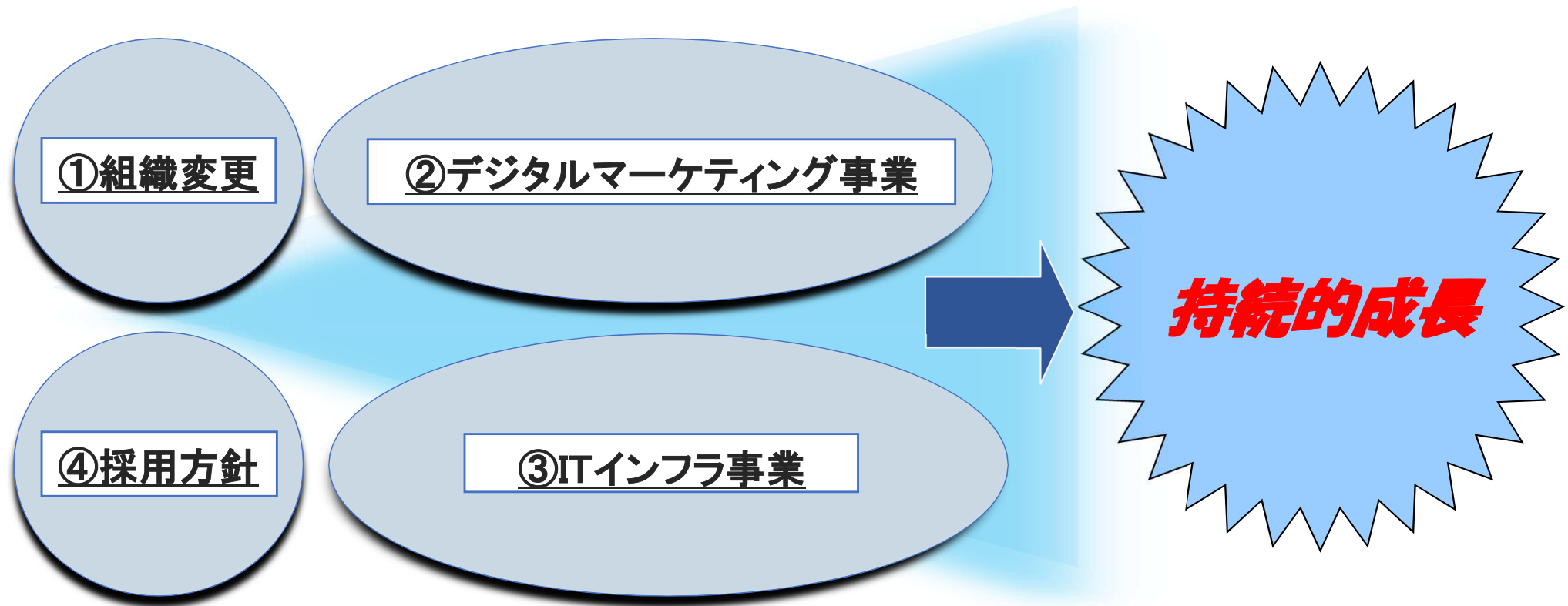
南九州地域における新規顧客の獲得、クロスセルによる新規顧客との取引拡大による既存ビジネスのスケールメリットの享受し、一層の連携を図るとともに、シナジー効果の最大化を実現するため。

③時期

平成29年2月28日 予定

3. 2017年3月期の取り組み

持続的成長へ向けた取り組み



①組織体制の変更

「顧客にとって何が重要か」を追求した組織体制へ変更

《旧体制》

ウェブソリューション関連事業

- ・電子ブック作成ソフト(ActiBook)
- ・ARコンテンツ作成ソフト(ActiBook ARCOCOAR)
- ・ログ解析、SEO、SEMサービスの提供
- ・O2Oソフト(AppGoose)

《新体制》

デジタルマーケティング関連事業

求められる役割

費用対効果を高める打ち出し

デジタルマーケティング



ネットワークソリューション関連事業

- ・NW機器やNW構築技術の提供
- ・インターネットプロバイダーを提案
- ・クラウドサービスの提供
- ・中国と日本国内を高速、高セキュリティに結ぶ『グローバルゲートウェイ』の提供

ITインフラ関連事業

顧客ターゲット：中堅・中小企業

自社に相應しいIT製品を自力で構築することが困難

ビジネスソリューション関連事業

- ・通信回線(スターティア光)の提供
- ・OA機器の提供
- ・保守、メンテナンスサービスの提供
- ・社内ITネットワーク保守サービス(ネットレスQ)の提供

求められる組織

トータルなIT環境を提案する組織

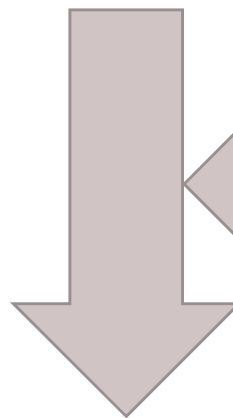
最先端を、人間らしく

Face to Face

業績不振と今後の方針

＜クリエイティブ企業への販売不振＞

- ・アーリーアダプター層への販売一巡
- ・マジョリティ層が導入を踏み切れないことへの対策に苦戦



＜ニーズは変わらず有り＞

- ・クライアントの成功事例の増加
- ・アプリのDL数増加

＜マジョリティ層攻略のために戦略変更＞

- ・マジョリティ層への明確な「クライアント企業の費用対効果」の打ち出し
- ・アプリのアクティブユーザ増加へ
- ・先行投資ができないクリエイティブ企業のパートナー化

②デジタルマーケティング関連事業

「クリエイティブ企業のIT化」から「デジタルマーケティング」へ

●統合型DMP(デジタルマーケティングプラットフォーム)「Cloud Circus」の開発



Cloud Circus



●アプリケーション(CA事業)とコンサルティング(WP事業)の融合

- ・Webマーケティングのノウハウをアプリケーション開発に還元
- ・アプリケーション導入企業にマーケティングコンサルを提供

●これまでのパッケージ販売を海外に展開強化

- ・台湾支店の拡大、スターティアソフト上海での販売開始、アジア各国に展開

COCOARの機能追加

・GPS機能

ユーザーが特定のエリアに直接訪れなければ見る事が出来ないARが作成可能。

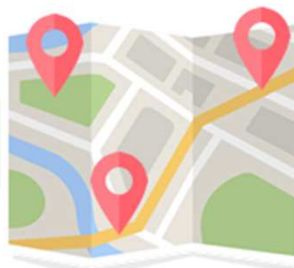
GPS機能を利用することで、観光誘致、来客数増加につなげることが可能に。

AR×GPS機能の活用方法



イベント

英語や中国語で
字幕が流れる
コンテンツにすると
外国人誘致にも。



観光地

商店街

GPS機能 ユーザー体験イメージ

GPS機能がつくことで指定エリア内のみでマーカーを有効にすることができる。
会場や店舗などへ行かなくてはならないため、集客企画の1つとして活用できる。

マーカーを読み込み



指定エリア内



②デジタルマーケティング関連事業

COCOARの機能追加

・スタンプラリー機能

マーカをかざす度にブラウザに「スタンプ」や「しるし」を貯めていくことで、特定の地域・観光地を回遊させる施策として利用することが出来る。
スタンプ達成時、景品の引き換えコードが発行される。

初回スタンプ時



スタンプ達成時



景品引換画面



景品引換後



②デジタルマーケティング関連事業

アーモンドピーク × ロバート秋山『クリエイターズ・ファイル』

クリエイターズ・ファイル 特別版『アーモンド農園 園長篇』告知ムービー



アーモンドピーク

アーモンドピークがロバート秋山の
クリエイターズ・ファイルとコラボレーション！
スマホ用コンテンツ『I AM ALMOND PEAK』で
特別版を公開中！

もっと「カリッと」する食感、

もっと「アメ焼き」に合うアーモンドはないのか？

「伝説のアーモンド」を求めて、ジョージ・ヴァンダムを訪ねた！



このページでは告知ムービーをアップしています。

②デジタルマーケティング関連事業

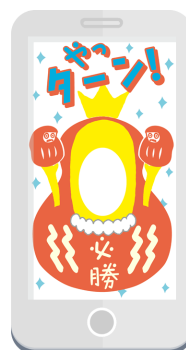
ハッピーターン&柿の種 今年も、「亀田の柿の種」「ハッピーターン」から受験生応援商品を発売。
 応援メッセージ付きの個包装デザインと、スマートフォンアプリを使ったスペシャル企画をご用意！
 オリジナル応援フォトフレームと受験生応援ソング動画をみてみてね♪
<http://www.kamedajuken.com/>



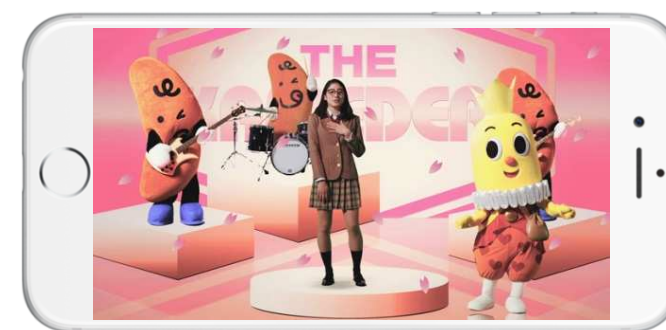
100%合格するぞ！
亀田の勝ちの種デザイン



120%合格するぞ！
ハッピーターンデザイン



96%合格するぞ！
ハッピーターンしょうゆマヨ味



3パターンのフォトフレームが表示され写真撮影ができる！
 楽しい写真をメールやSNSで送って受験生を応援しよう！



3商品のうち2商品を合わせて撮影すると、
 たねっち・ターン王子の受験生応援ソング動画
 が流れるよ♪

②デジタルマーケティング関連事業

山野楽器

画像
写真



YAMANO MUSIC CHRISTMAS TREE

2016.11.12-12.25

銀座山野楽器 本店前に、
2016 年もクリスマスツリーが登場。
音楽に合わせたイルミネーションで、
銀座の街に音と光のハーモニーをお届け中！
音符やクリエイターによる楽器オーナメントが、
本物のモミの木を彩ります。



動画で
ツリーを楽しもう！



ツリーと一緒に撮って
思い出に残そう！

1 無料アプリをインストール

AppStore/GooglePlay から
[cocoar2] または [ココアル2] と
検索＆ダウンロードもしくは
QR コードで検索！



IOS、AndroidOS 共通

2 アプリを起動してかざす

cocoAR2 を起動したら
右赤枠内の
「クリスマスHooちゃん
をスキャンしてね！」



動画 フォトフレーム

※写真はアプリ内にダウンロードされます。
アプリ内 [設定] - [写真] から確認、編集への操作ができます。

ヤマノシンボルツリー 2016

～今年も山野楽器 銀座本店前にシンボルツリーがやってきた～

#1 Instagram@ キャンペーン

11.26(sat) ～ 12.25(sun)

ツリーを撮影して、Instagram に #ヤマノツリー を付けて投稿。
投稿画像が 1 週間のランダムに 1 枚が選ばれ、先着順にオリジナルグッズをプレゼント！

#2 AR アプリで遊ぼう！

1. 無料アプリをインストール
2. アプリを起動してかざす
3. ツリーを撮影してかざす

フォトフレーム
で記念撮影



♡ いいね！ 852件

maccori1 さっそく「#ヤマノツリー」って
ハッシュタグつけて投稿したら
オリジナルグッズもらえたー🎄👏 ... 続きを読む
コメント18件すべてを表示

フォトスポットの案内

ARフォトフレームで
撮影した写真を
Instagramに投稿すると・・・

オリジナルグッズをプレ
ゼント！

③採用の取り組み

平成29年4月の新卒は40名を予定している。

麻雀採用の実施

学生と社員との麻雀大会を開催し、1位を獲得した学生は最終面接に進む。
メディアへの掲載もあり、当社の知名度は上昇している。
平成29年の新卒のうち、麻雀採用を経て2名が入社をする予定である。



(写真)平成29年2月3日麻雀採用の様子



メディア

【掲載実績】

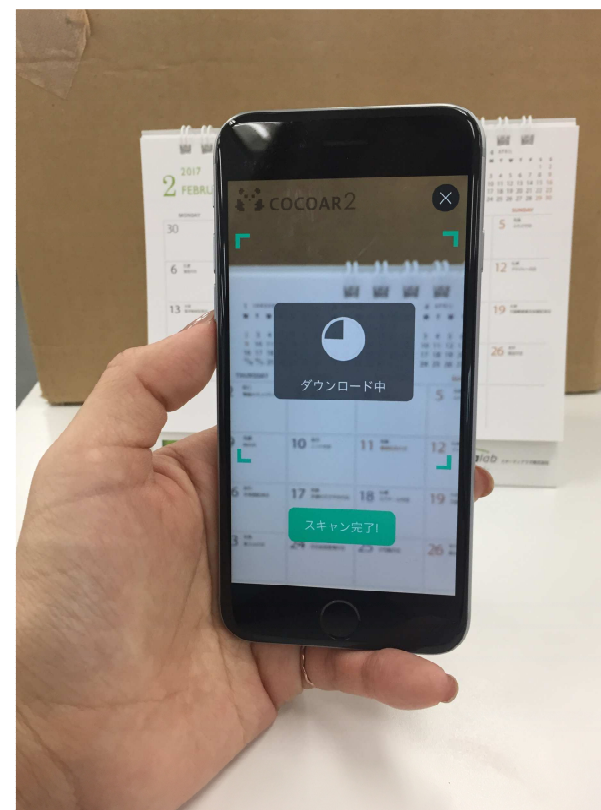
- ・日経産業新聞
- ・日本経済新聞(電子版)
- ・Nスタ
- ・毎日新聞
- ・ニコニコニュース
- ・新華網日本語
- ・HuffPost Japan
- ・日刊工業新聞
- ・AmebaTV
- ・西日本テレビ
- ・産経ニュース
- ・麻雀新聞 他多数

④その他の活動

カスタマー1stを実現するための顧客支援活動

2017年当社のカレンダー

スターティアラボのARアプリ「COCOAR2」をかざすと、毎月抽選でギフト券が当たるキャンペーンに応募できます。



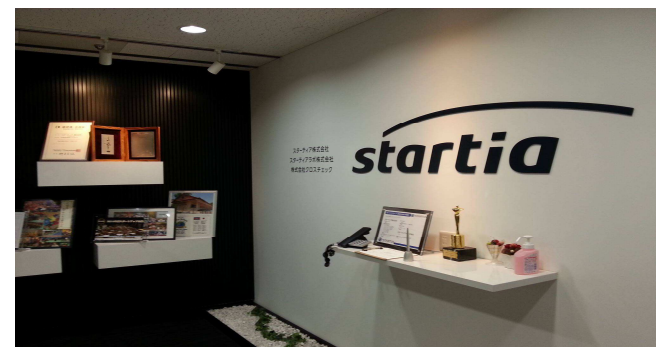
4. 会社概要と事業イメージ

スターティアの経営理念

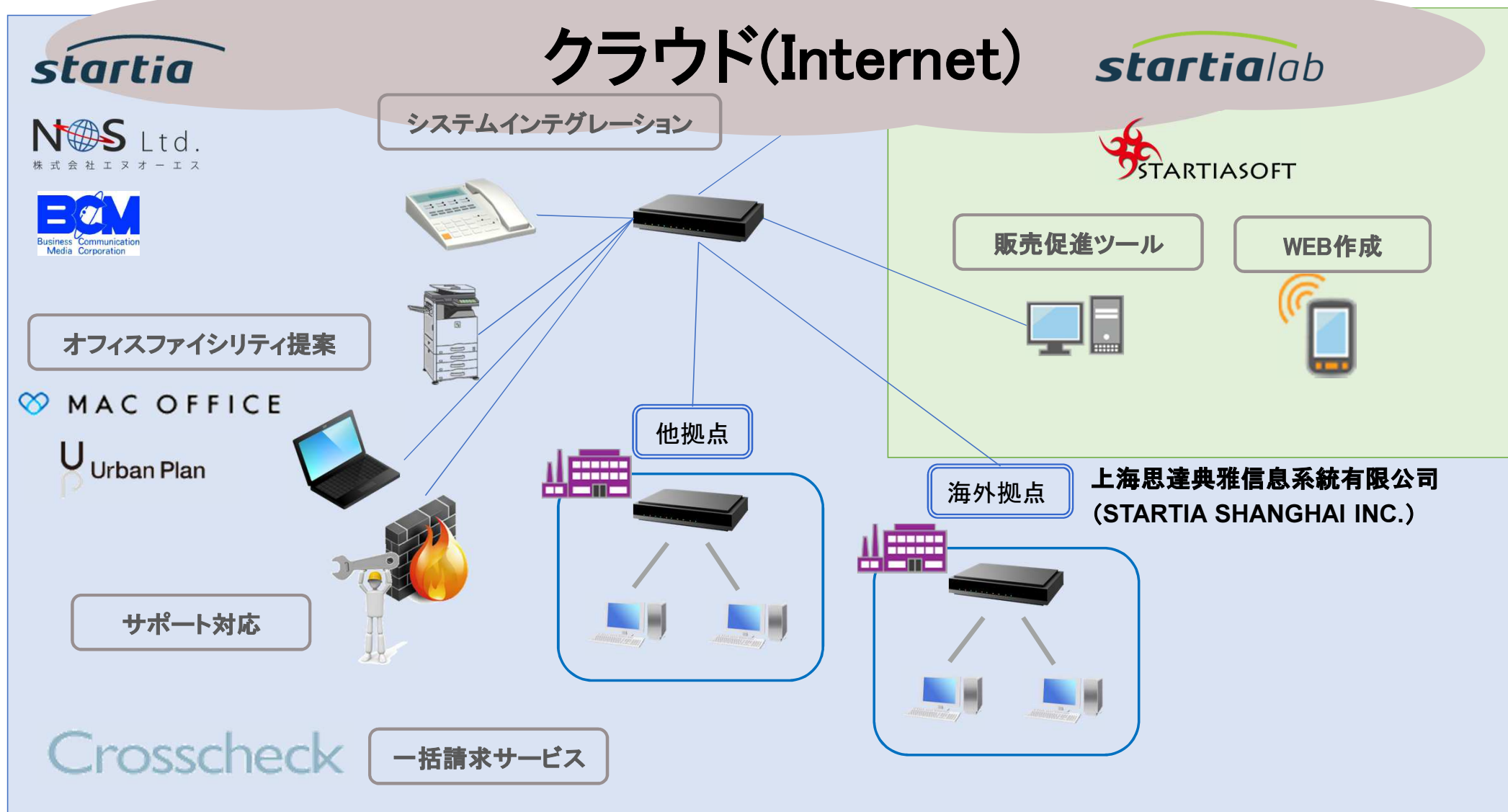
社会のニーズとマーケットを見極め、人と企業の未来を創造し、優れた事業と人材を輩出するリーディングカンパニーを目指す。

どんなに優れた技術や知識も、人に知られなければ意味がありません。
そのような価値ある情報をニーズのある企業とつなぎ、「新たなビジネスの始まり」を創造する。
それが、私たちSTARTIA(スターティア)のミッションです。

会社名 : スターティア株式会社
本社所在地 : 東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス19F
設立 : 1996年2月21日
代表者 : 代表取締役社長 兼 最高経営責任者 本郷秀之
資本金 : 824,315,740円
市場 : 東証一部(コード:3393)
発行済株式数 : 10,240,400株
従業員数 : 615名(連結)2016年3月末時点
事業拠点 : 大阪支店、東東京支店、横浜支店
名古屋支店、福岡支店、神戸営業所、(滝沢R&Dセンター)、
足立テクニカルセンター、(台湾支店)
子会社 : スターティアラボ株式会社
上海思達典雅信息系統有限公司(英文名称: STARTIA SHANGHAI INC.)
ビーシーメディア株式会社
株式会社エヌオーエス
関連会社 : 株式会社MACオフィス
株式会社アーバンプラン
株式会社クロスチェック
西安思达典雅软件有限公司(英文名称: STARTIASOFT INC.)

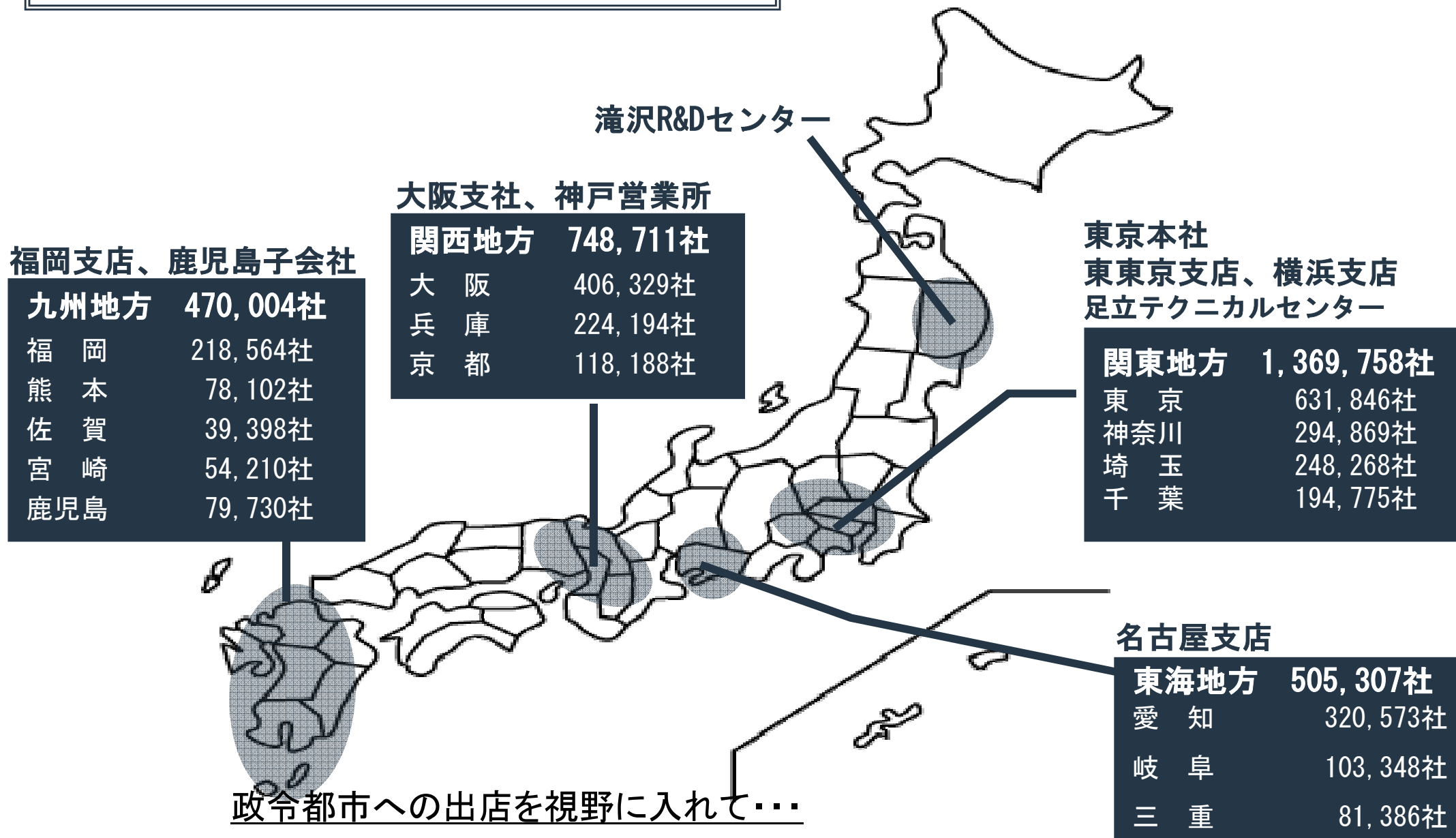


オフィスのITに関するトータルソリューションカンパニー



当社拠点とターゲット事業所数

全国555万社 (従業員300名未満の事業所数)



startia

連結子会社

startialab

(出資比率100%)

■2009年4月1日設立

・Webサイトの企画・制作・運営・保守・コンサルティング、電子ブック作成ソフトActiBookを中心としたWebアプリケーションの企画・開発・販売・保守

上海思達典雅信息系统有限公司
(STARTIA SHANGHAI INC.)

(出資比率100%)

■2013年1月17日設立

・上海でのネットワーク機器、通信ネットワークのインフラの構築。中国と日本国内を高速、高セキュリティに結ぶ『グローバルゲートウェイ』の提供

2013年3月出資

NOS Ltd.
株式会社エヌオーエス

(出資比率100%予定)

■1995年10月4日設立

・南九州地域を中心として、エリア企業向けにMFPのリース販売・レンタルサービス、およびカウンターサービスの提供

2015年10月出資

BCM
Business Communication Media Corporation

(出資比率100%)

■1979年8月1日設立

・大阪府堺市を中心として、エリア企業向けにMFPのリース販売・レンタルサービス、およびカウンターサービスの提供

2016年7月出資

研究開発

STARTIASOFT

(出資比率30.0%)

■2011年10月27日設立

・ソフトウェアの企画、開発

2012年1月登記完了

MAC OFFICE

(出資比率40.65%)

■1990年6月5日設立

・企業移転、開設、改装などに伴うオフィスの企画、設計、デザイン、それに附随する各種工事に関するトータルソリューション事業

2009年5月出資

Urban Plan

(出資比率34.23%)

■2011年11月9日設立

・オフィス移転、改装に伴うレイアウト作成、意匠デザイン作成、内装工事、オフィス家具販売

2012年1月出資

持分法適用関連会社

Crosscheck

(出資比率30.56%)

■2014年11月4日設立

・一括請求を基盤とした、ワンストップサービス(回線敷設代行、OA機器・オフィスファシリティの販売・レンタル、一括請求サービスによる再販等)の提供

2015年10月出資



最先端を、人間らしく。

東証一部 3393

<https://www.startia.co.jp>

〒163-0919 東京都新宿区西新宿2-3-1新宿モノリス19階

ir@startia.co.jp

(IR窓口) 03-5339-2109